

平成19年11月5日

各位

会社名 株式会社ほくほくフィナンシャルグループ
代表者名 取締役社長 高木 繁雄
本店所在地 富山県富山市堤町通り一丁目2番26号
コード番号 8377 (東証第一部、札証)
問い合わせ先 責任者役職名 企画Gマネージャー 庵 栄伸
電話番号 (076) 423-7331

「共同利用システム」の対象範囲の拡大について

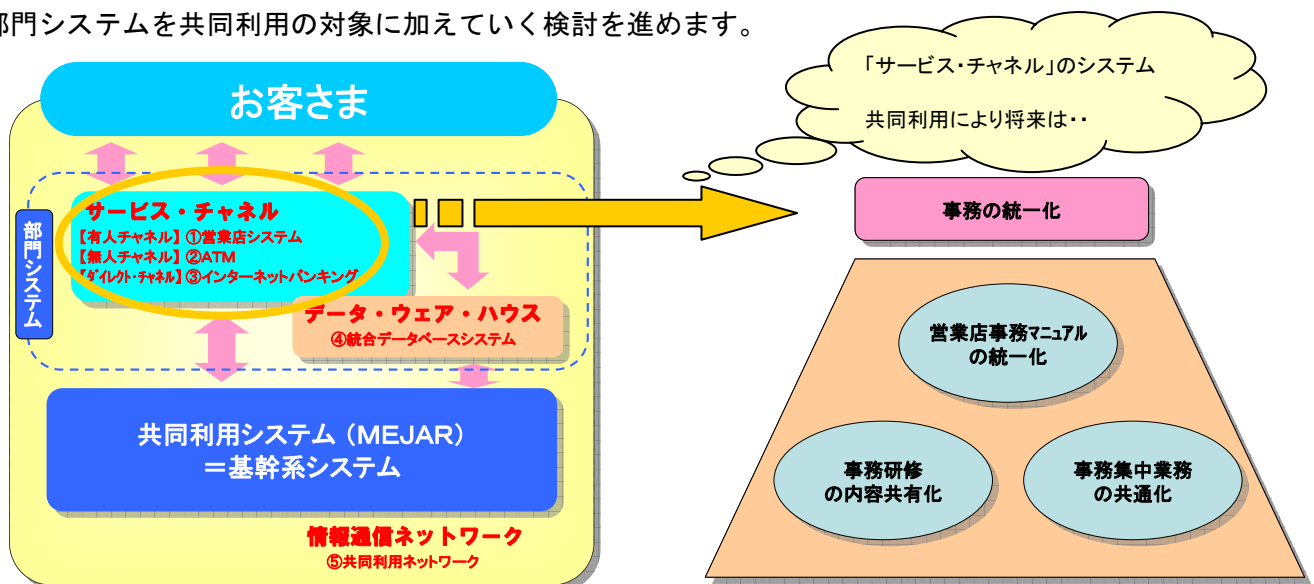
～北陸銀、北海道銀、横浜銀が「事務の統一化」も視野に～

当社子会社の北陸銀行（頭取 高木 繁雄）と北海道銀行（頭取 堰八 義博）、および横浜銀行（頭取 小川 是）は、平成22年1月以降順次、稼働を予定している「共同利用システム：名称＝MEJAR（メジャー）」の構築を進めていますが、このたび、営業店事務をはじめとした「事務の統一化」も可能となる共同利用システムの対象範囲の拡大について合意しました。

具体的には、営業店システムやATM、インターネットバンキングなど、お客さまと直接、接点があるシステムを共同利用の対象に追加することで、営業店の事務マニュアルの統一化に加え、将来的には、eラーニングなどを活用した事務研修の内容の共有化、また、商取引や金融取引の電子化がさらに進んだ場合、事務集中業務の共通化も視野に入ります。

このようなサブシステムと呼ばれる部門システムまでを共同利用の対象とし、「事務の統一化」をめざしていくことは、銀行間におけるシステム共同化において先進的な取り組みといえます（対象システムの詳細は別紙をご参照ください）。

3行は、今回の共同利用の範囲拡大により捻出できるコストメリットをそれぞれの地域における戦略的な投資に充当できるほか、共通の新品・新サービスを導入する場合にも、迅速なシステム対応が可能になります。今後もさまざまな取り組みによる成果をスピーディーにお客さまにご提供できるよう、将来を見据えたシステムを構築していくとともに、システム共同利用の効果をいっそう高めるため、さらに多くの部門システムを共同利用の対象に加えていく検討を進めます。



本件に関する照会先 北陸銀行 総合事務部 多賀 TEL 076(439)8701、076(432)2777
北海道銀行 システム企画部 麻田 TEL 011(815)1111

【別紙】新たに共同利用の対象となるシステム

システム分野		対象となるシステム	システム、共同利用の内容など
お客さま向け サービスチャネル		①営業店システム	お客さまとの店頭取引において行員がおこなう事務手続きのベースとなるシステムです。共同利用により、事務手続きや伝票を原則として統一します。
		②ATM(現金自動入出金機)に関わるソフトウェア	各行の独自性を確保しつつ、「通帳仕様」、「振込カード仕様」、「レシート印字仕様」などの仕様を統一します。
		③インターネットバンキングに関わるソフトウェア	これまで各行ごとのシステムを使っていましたが、個人、法人ともにNTTデータが提供するインターネットバンキングシステムを採用します。
IT インフラ	データ・ウェアハウス	④統合データベースシステム	お客さまの情報ははじめとした主要情報をすべて集約し保有する「データの倉庫」です。必要な情報の取り出しが容易になるため、業務の高度化により発生する新たなニーズへの対応力が大幅に向上します。
	情報通信ネットワーク	⑤共同利用ネットワーク	従来予定していた各行のセンター間のみならず、各行センターと営業店間のネットワークも共同利用の対象にします。回線の高速大容量化が効果的に実現できます。